

Ophthalmic Sanjo Group

ANNUAL REPORT 2024

年次報告書 2024.01 ~ 2024.12



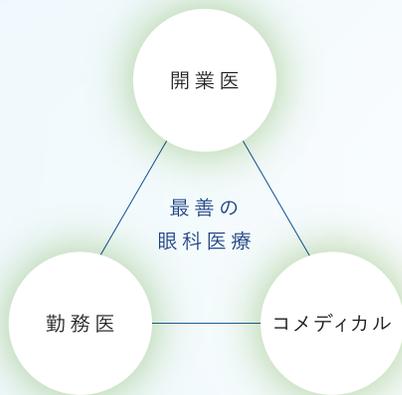
眼科三条会の理念・行動指針・活動内容 会員制度について

「眼科三条会」とは

2022年に眼科医の有志によって設立された会員制の組織であり、医療資源を共有、継承し、眼科医療を発展させることを目的としています。現在下記の組織図のように、勤務医、開業医、コメディカルが会員として参加し、様々な活動を行っています。



理念



開業医、勤務医、コメディカルが
三位一体となって
最善の眼科医療に取り組みます。

行動指針

- 患者さんに最良の医療を提供し、地域医療に貢献します。
- 向上心を絶やさず、医療技術の向上及び研究を通して眼科医療の発展に努めます。
- 思いやりの心で患者さん、スタッフに接します。
- 仲間を尊重し、日々切磋琢磨します。
- 教えることにより、自ら学ぶ姿勢を大切にします。
- 勤務医、開業医、コメディカル3者が幸せになれる活動を行います。

活動内容

- 「病院を超えた眼科医局」を目指し、眼科専門医を教育する環境を構築します。
- 研究や機器開発など当会で積み重ねた技術・財産を後進のために継承していくことで、勤務医として一生モチベーション高く活躍できる職場環境を提供します。
- 専門医による診療を患者さんの身近で行えるようにします。
- 白内障手術を通じて病院・開業医との互助関係を築きます。
- (互助システム) 当会では、互助の考えより、人材や医療機器の共有を進めています。人材としては、代務医、看護師や視能訓練士の施設間での共有を、また、医療機器は、関連施設にて急な故障等で代替品が必要な際に、ほかの関連施設でご不要な医療機器がある場合、当会のネットワークを生かして、有効活用ができる体制を整えております。

眼科三条会の活動概要





2024年 会員サポート実績

【医師】執刀医サポート

*合計17施設へのサポート

月のオペ回数	1回	2回	4回	5回	隔月に2回 (2か月おきに2回)	2か月に1回	3か月に1回
施設数	7	5	1	1	1	1	1

緊急代務サポート

A診療所	院長先生の体調不良により、 2日の代務医サポート
------	-----------------------------

【看護師】手術サポート

*合計15施設に対して、1~3名のサポート

サポート人数	1人	1~2人	2人	3人
施設数	10	1	3	1

人材不足ヘルプサポート

A診療所	2024年8~9月 2名体制で週2日1名の検査助手 サポート
------	--------------------------------------

【視能訓練士】定期サポート

*2病院、6診療所に対して1名のサポート

	月	火	水	木	金	土
AM	A診療所	C診療所	F病院	G診療所	B診療所	G診療所
	B診療所				C診療所	H診療所
PM	B診療所	D病院	F病院	E診療所	B診療所	D病院
		E診療所				

人材不足ヘルプサポート

A病院	2024年1月 2名体制で月に3日、1日に1名での サポート
B病院	2024年1月~3月 8名体制で毎日1~2名のサポート
	2024年8月~12月 6名体制で週3日、1日に1名での サポート

● 医療機器

会員間にて、
右記の機器譲渡のサポートを
実現いたしました。



YAGレーザー



ゴールドマン視野計



ハンプリ

手術件数

眼科三条会 所属医師の
勤務施設手術件数

	白内障	網膜硝子体	硝子体注射
2022年	2,060件	33件	186件
2023年	7,656件	323件	1,052件
2024年	7,842件	451件	1,185件

※上記件数には、JCHO中京病院、JCHO可見とうのう病院の件数は含まれておりません。 ※2022年は9月~12月の件数となります。

会員向け その他サポートのご案内

特殊症例IOL相談サポート

当会では、レーシックの後や特殊症例のIOL度数計算などお困りの施設に対応するため、特殊症例IOL相談窓口を設けております。お困りの時点で窓口までご連絡いただければ、名古屋アイクリニックの視能訓練士と連携し、的確なアドバイスをいたします。

ご相談窓口・お問合せ先 [メール](mailto:iol_soudan@ccm.or.jp) iol_soudan@ccm.or.jp [FAX](tel:052-291-4451) 052-291-4451

LINE相談窓口

専門医相談グループ

症例で困った際のご相談窓口【専門医の相談グループLINE】を開設しております。お困りの時点でご相談をいただきますと、各専門分野の医師より適切なアドバイスをさせていただきます。ぜひ、ご活用くださいませ。

視能訓練士専用相談オープンチャット

視能訓練士の皆さま専用のLINEオープンチャットであり、より気軽に情報交換やお困りの際のご意見交換をしていただける場となっております。

● 過去のご相談例

- ① 眼軸長の強膜内固定術の度数決定について
- ② トリック眼内レンズの適応について
- ③ RK後の眼内レンズ度数決定について
- ④ レーシック後の眼内レンズ度数決定について

眼科三条会ホームページ
<https://sanjogroup.jp/>



眼科三条会Facebook
<https://www.facebook.com/Sanjogroup>



理事ご挨拶

Greetings from the Chairman

■ 代表理事挨拶

眼科三条会が目指すもの

現在、勤務医が直面する課題には様々なものがあります。日々の雑務に追われ、研究に十分な時間を割くことが難しい現実、大学病院ほどのサポートが得られず文献検索や論文指導に苦慮する状況、そして経済的なゆとりを求める声も多く耳にします。一方で、開業医もまた、長年の診療により最新の眼科医療の知識を維持することに苦勞し、手術と外来を両立する中での疲労、専門医への相談のハードルの高さなど、多くの課題を抱えています。

眼科三条会は、開業医と勤務医が互いを尊重し、助け合うことで、それぞれの医療を発展させることを目的に、2022年9月に設立されました。私たちは、医療に携わるすべての医師が、より良い環境で患者に向き合い、最善の医療を提供できることを目指しています。

日本の高齢者人口は2040年まで増加すると予測されており、その結果として医療費の増加や制度の負担増が懸念されています。このような状況の中、予防医療の重要性が高まっており、フレ

イル(病気一歩手前の状態)を早期に発見し、介入することで医療費を抑制しようという取り組みが注目されています。眼科分野においても、アイフレイル対策が進められており、私たち眼科三条会は、専門医と開業医のネットワークを活用し、適切なタイミングでのアドバイスを提供することで、患者の視機能を維持し、日本全体の医療費削減にも貢献できると考えています。

また、医療を提供する者が悲観的な気持ちや閉塞感を抱えたままでは、良い医療を行うことはできません。楽しく充実した環境で働けることは、より良い医療の提供に直結します。眼科三条会は、双方のモチベーションを高めるような施策を常に考え、最終的には患者に最良の医療を提供し、日本の医療全体を元気にすることを目指しています。

私たち眼科三条会は、開業医と勤務医の協力による医療の発展と、持続可能な医療体制の確立に向けて、これからも邁進してまいります。



代表理事

小島 隆司

KOJIMA, Takashi MD, PhD

名古屋アイクリニック 角膜診療主任
医学博士

- 屈折矯正 ●角膜 ●白内障
- ドライアイ ●コンタクトレンズ
- 眼科専門医

■ 理事挨拶

早期のスキルアップを目指す 眼科三条会の手術教育の特徴

眼科三条会では、術者が手術の本質を理解し、技術を磨き、経験に基づいて柔軟に対応ができる力を身につけることを目指しています。そして、新しい手術方法を模索し、挑戦ができる術者の育成にも力を注いでいます。最終的には「職人技の世界」と「効率的な学習」を融合させることを目標としており、それを実現することができる環境が眼科三条会には整っています。その中で密度の濃い手術教育を受けることにより、早期のスキルアップが可能となります。

眼科三条会の教育環境の特徴として、まず挙げられるのが、経験に富んだ術者が身近に存在するという点です。術者自身が直接お手本を間近で見ることができ、その技術を学び、自身の成長に繋げることができます。このような環境はスキルアップを図る上で非常に重要です。また、周囲に複数のお手本が存在することで、自分の到達目標を具体的にイメージしやすく、学びの方向性を明確に定めることができます。

さらに、手術教育の一環として行われている勉強

会では、手術動画を用いて課題点を共有し、改善のための意識づけを行っています。これにより、自身の技術のどこを向上させるべきかを明確に把握することができ、効率的なスキルアップが可能となります。また、眼科三条会は国内でも有数の手術件数を誇っており、多くの症例経験を積むことができます。豊富な症例に触れることで、術者は実践的な経験を積みながら、自信と実力を養っていくことができるのです。

加えて、技術や機械の進歩に伴い、手術方法も進化を続けている昨今、眼科三条会では、こうした時代の変化に対応するため、常に新しい手術方法を模索し、その意義を術者に体感させる取り組みを行っています。上級医が学会で最新の術式を発信することによって、術者自身が新たなチャレンジへの価値を理解し、積極的に取り組む姿勢を育てています。

このように、眼科三条会では、早期のスキルアップを目指す術者がより効果的な学びを得られ、自己研鑽に専念できるよう、教育環境を整えています。



理事

吉田 則彦

YOSHIDA, Norihiko MD

岐阜赤十字病院 眼科 主任部長

- 網膜硝子体 ●白内障
- 眼科専門医

所属医師の紹介

Introduction of Doctors

加賀 達志

KAGA, Tatsushi MD, PhD

JCHO 中京病院 眼科 診療部長
専門研修プログラム統括責任者
医学博士

●網膜硝子体 ●眼科専門医



渡邊 三訓

WATANABE, Mitsunori MD

JCHO 中京病院 眼科 医長

●緑内障 ●白内障
●眼科専門医



松田 泰輔

MATSUDA, Taisuke MD, PhD

JCHO 中京病院 眼科 医長
医学博士

●網膜硝子体 ●緑内障
●眼科専門医 ●専門研修指導医



澤木 綾子

SAWAKI, Ayako MD

JCHO 中京病院 眼科

●白内障 ●角膜
●眼科専門医



三田村 麻里

MITAMURA, Mari MD

岐阜赤十字病院 眼科

●白内障 ●視機能・色覚
●眼科専門医



岡村 周子

OKAMURA, Chikako MD

岐阜赤十字病院 眼科

●小児・斜視弱視 ●眼科専門医



高木 勇貴

TAKAGI, Yuki MD

JCHO 中京病院 眼科

●緑内障 ●眼科専門医



志賀 優

SHIGA, Suguru MD

岐阜赤十字病院 眼科

●緑内障 ●眼科専門医



城山 彰太

SHIROYAMA, Shota MD

JCHO 中京病院 眼科

●網膜硝子体
●緑内障 ●眼科専門医



スタッフ情報

Staff Information

柳瀬 弘美

YANASE, Hiromi

看護部 課長
看護師



藤田 美紀子

FUJITA, Mikiko

看護師



鳥井 俊希

TORII, Toshiki

視能訓練士



Report01

The 42nd Annual Scientific Meeting of the American Society of Retina Specialists (ASRS) 2024

JCHO中京病院 眼科 加賀 達志

2024年のASRSは7月17日(水)～20日(土)にスウェーデンのストックホルムで行われました。

これまでにAMDに対する種々の抗VEGF注射が開発されていますが、新しい治療として、アフリベルセプトを持続的かつ一貫した発現をするように設計されたアデノウイルスを注射して行う遺伝子治療の第2相治験の報告がありました。1回注射するだけで、アフリベルセプト注射回数を90%前後減少させ、長期間視力を維持できるように、画期的な治療になる可能性があります。

DME治療においては、アフリベルセプト2mgと比較してファルシマブが硬性白斑を減らせるという報告がありました。続発性黄斑前膜に差がある報告もあり、長期ではAng2も阻害できるファルシマブが有利のように思えました。

また、ぶどう膜炎に対して、上強膜にトリアムシロンアセトニドを注射するXIPERE®の発表がありました。テノン嚢下と比較して6か月でBCVAに差はないですが、白内障や眼圧上昇がほとんど起こらないため期待できる治療法と思われました。

その他、網膜剥離など硝子体手術の種々の報告がありましたが、私たちが得意とする内視鏡併用硝子体手術の有利性を感じました。今後も私たちの強みである内視鏡に注力するべきだと思いました。



Report03

The 42nd Congress of the European Society of Cataract and Refractive Surgeons (ESCRS) 2024

JCHO中京病院 眼科 澤木 綾子

9月6日(金)から10日(火)にかけてスペインのバルセロナで開催された、ESCRS2024に参加してきました。

初めてのESCRS、初めてのスペインということで、全てが手探りでしたが、小島先生の学術的なご指導と、三条会の各種手配サポートで、スムーズに当日に至ることができました。

初日はCornea Dayを選択したので、朝から夕方まで角膜に関連したセッションを聴講しました。充実した講演内容を楽しむとともに、満員の会場に、角膜分野に携わる医師がこんなにいるのかと、なんだか嬉しくなりました。

私のポスター発表は4日目でした。セッション内にはアジアを含む様々な国の先生が発表していましたが、質疑応答も問題なく行って、先生方の英語力に感服しました。英語の苦手な私も気合いを入れて臨みましたが、正直悔いの残る結果になりました。

9月のヨーロッパということで寒さを心配していましたが、バルセロナは非常に過ごしやすい気候でした。日没が20時頃と日が長いので、学会後に観光や食事と毎日有意義に過ごすことができました。

円安・物価高の昨今、学会参加費が1,000ユーロ超で驚きましたが、参加してよかったと心から思うことができる、刺激の多い5日間でした。この経験を忘れずに、臨床、研究、語学学習に力を入れようと思います。

The 12th International Congress on Glaucoma Surgery (ICGS) 2024

JCHO中京病院 眼科 松田泰輔

4月18日(木)～20日(土)、UAEのアブダビで開催されたICGSに参加し、最新の緑内障手術に関する情報収集をしてきました。

今回は中京病院の強みである内視鏡を使用した「小眼球の悪性緑内障に対する内視鏡併用硝子体手術」の発表をしました。

悪性緑内障の治療は確立されていませんが、内視鏡を使用した周辺部前部硝子体切除、後嚢切除はとても有効です。海外では内視鏡の使用が一般的ではないため、いろいろな質問を受けました。

本学会ではsupraciliary spaceをターゲットにしたMIGS device (MINIject®)や術後に濾過量を調整できるeyeWatch implant にeyePlateを組み合わせたデバイスの紹介などがありました。

まだ日本では使用できませんが、今後も新しいデバイスが次々と登場するようなので期待しています。

19日(金)の夜には "Social Dinner" がありました。

学会場から皆と一緒にバスでアルホスン宮殿へ移動し邸宅前の広場で食事、鷹と一緒に記念撮影などのイベントがありました。

各国の民族衣装で参加してくださいとあり、私は持参していません

でしたが、原眼科病院の原 岳先生は甚平と金の扇子の装いでした。

原先生のスタイルは皆の注目を集めていました。さすがです。

2024年の日本緑内障学会でも来日をされましたKeith Barton教授 (Moorfields Eye Hospital)とも話ができて有意義でした。



アルホスン宮殿の中庭にて



Keith Barton教授と (Moorfields Eye Hospital, Professor at University College London)



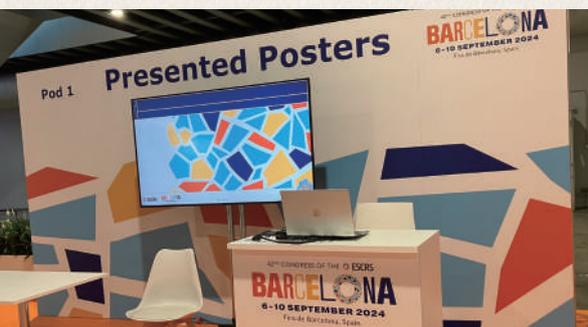
アルホスン宮殿で踊りに参加



アブダビは鷹が有名



原眼科病院 原 岳先生と



↑ 世界遺産の『サン・パウ病院』。世界一美しい病院ともいわれています。
← ESCRS 発表会場。ワイヤレスヘッドホンを使用して、ストレスなく聴講できます。

留学生受け入れ報告



左:小島 隆司 医師
右:Dr. Amarjargal Indra

海外留学生 報告だより

Dr. Amarjargal Indra / Bolor-Melmii Eye Hospital(2024.8.5-8.9 名古屋アイクリニック留学)

I am Dr. Indra from Mongolia. I work in Bolor-Melmii Eye Hospital as a cornea, cataract and refractive surgeon.

I got valid opportunity to do ICL short term observation and wet lab

training in Nagoya Eye Clinic. My training plan was decent and covered everything including lectures about ICL, patient selection, examination, complications and management, surgical procedure, removal of ICL by Dr. Takashi Kojima and Dr. Tomoaki Nakamura.

I did wet lab training sponsored by STAAR surgical Inc. under Dr. Kojima's supervision. I learned how to do setting of ICL, implantation and removal.

Nagoya Eye Clinic has over 20 years of experience on implanting ICL and they have two specialized ICL instructors certified by STAAR Surgical Inc., Dr. Nakamura and Dr. Kojima, whom have performed on over 3000 ICL implantations since 2003. As a pioneer, they have a proven track record of performing ICL surgery not only in Japan but also around the world. Dr. Kojima came to Mongolia in 2016 in our Bolor-Melmii Eye Hospital. With the help of the advanced technology, our Mongolian cataract and refractive surgery service stepped-up. Dr. Kojima first time implanted STAAR ICL in Mongolia. He did many ICL implantation in Mongolia and patients who had ICL implantation are still having good visions.

Also, he did Deep Anterior Lamellar Keratoplasty, Endothelial Keratoplasty and Phototherapeutic Keratoplasty first time in our country. I always feel lucky that I had a chance to work with Dr. Kojima.

I would like to express my sincere gratitude to the staff of Nagoya Eye Clinic, Dr. Takashi Kojima and director Dr. Tomoaki Nakamura who generously shared their knowledges, experiences and gave me the opportunity to do training and improve my professional skills.

私はモンゴル出身の医師、インドラと申します。Bolor-Melmii Eye Hospitalで、角膜・白内障・屈折矯正の専門の外科医として勤務しています。

今回、名古屋アイクリニックでICL短期見学およびウェットラボトレーニングを受けられる貴重な機会をいただきました。

トレーニング計画は、中村友昭院長先生と小島隆司先生からの、患者の選定、検査、合併症の管理、手術手順、ICLの摘出などICLに関する講義を含め、すべてが網羅された大変充実した内容でした。

また、小島隆司先生のご指導のもと、スターサージカル株式会社主催のウェットラボトレーニングを受け、ICLのセッティング、挿入、摘出方法を学びました。

名古屋アイクリニックでは、20年以上のICL手術の実績があり、スターサージカル株式会社認定のICL専門インストラクターである中村友昭院長先生と小島隆司医師が在籍し、2003年以来、3,000件以上のICL手術の実績があります。

また、彼らは、ICL手術のパイオニアとして、日本だけでなく世界中でICL手術を行ってきた実績があります。

小島隆司先生は2016年にモンゴルのBolor-Melmii Eye Hospitalにご来院され、先進技術の導入により、モンゴルの白内障および屈折矯正手術の提供基盤は向上しました。

また、小島隆司先生はモンゴルで初めてSTAAR ICL手術を行いました。彼はモンゴルで多くのICL手術を行い、手術を受けた患者は現在も良好な視力を維持しています。

更に、彼は私たちの国で初めて深部層状角膜移植術(DALK)、角膜内皮移植術(EK)、および治療的表層角膜切除術(PTK)を行いました。私は小島隆司先生と一緒に働く機会に恵まれたことをいつも幸運に感じています。

豊富な知識や経験を惜しみなくご共有いただき、貴重なトレーニングを通して、専門的なスキルを向上させる機会をいただきました、名古屋アイクリニックの皆さま、小島隆司先生、そして、中村友昭院長先生に心より感謝を申し上げます。

国内留学を経て・体験記

大坪 充 医師 / 旭川医科大学 眼科学教室 (2022.4-2024.3 JCHO中京病院 眼科 国内留学)

2022年4月～2024年3月の2年間、眼内内視鏡手術のメッカであるJCHO中京病院に国内留学し、眼内内視鏡手術を研鑽しておりました。眼科顕微鏡手術は近年目覚ましい進歩をとげ、網膜硝子体分野ではWide viewing systemが普及し、より安全な手術が一般的となりました。しかし、虹彩に隠れた眼内周辺部は眼外から圧迫での観察が一般的であり、術中の疼痛の原因となること、角膜混濁例では、そもそも眼内観察が困難であり、手術が難化することがあります。

達人と呼ばれるSurgeon達はこれらを克服し、どのような症例も内視鏡を使わずとも治療可能かもしれません。しかし、内視鏡を習得すれば眼内の死角が減ることで、若手でも達人に近い治療を可能にするのでは?と考え、国内留学を決めました。

JCHO中京病院では網膜硝子体班に所属し、加賀先生をはじめ松田先生、横山先生、森先生にご指導いただきました。網膜硝子体手術全例において内視鏡を併用するため、無圧迫での手術が一般的でした。毎晩熱心に先輩達が手術と一緒に残ってくださり、圧迫ありきで習得していた手法を変え、当初は内視鏡手術を困難に感じたものの、数を重ね、少しずつ習得することができました。角膜・斜視・緑内障・眼形成各専門外来が揃っており、手術見学や症例相談に乗ってくだ

さり、眼科総合的に勉強となりました。

また光学・屈折への意識が高く、優秀なCertified orthoptistが多く、白内障手術における眼内レンズ選択のアドバイスを多くいただき、大変勉強となりました。トーリック適応が広く、より良い裸眼での見え方を追求する姿勢には、疾患をただ治すだけではないという強い意志を感じました。

慣れた地を離れることで見えたものは、新しいものだけでなく、自身を振り返る機会ともなりました。現在は、旭川医大勤務に戻り、網膜硝子体手術を続けています。難症例、角膜混濁例に内視鏡を用い有効性を実感しております。2年間で学んだことをさらに昇華できるよう、今後とも精進いたします。

↓ JCHO中京病院の皆さまと



2023

Sanjo Research Award



受賞者

高木 勇貴 医師 JCHO 中京病院 眼科

タイトル	Comparison of the efficacy and invasiveness of manual and automated gonioscopy.
掲載誌	PLoS One. 2023 Apr 6;18(4):e0284098

この度は、記念すべき第一回のリサーチアワードを授与していただき誠にありがとうございました。この場を借りて、再度後援いただいている名古屋アイクリニックの中村院長先生、選考委員の先生方、研究に協力いただいた渡邊先生を始めとするスタッフの方々に御礼申し上げます。

今回、賞をいただいた論文では、自動で全周の隅角写真が撮影可能なGS-1ゴニオスコープ(NIDEK)と医師(緑内障専門医と眼科専攻医)での隅角写真の撮影に要する時間と患者さんの負担(検査時の疼痛や不快感)を比較検討しました。眼科専攻医よりも短時間・低侵襲での検査が可能であること、緑内障専門医より短時間に検査することは出来ませんでした。同程度の侵襲で検査出来ることが判明しました。また、撮影された画像は90%以上で診療実用に耐えられるレベルでした。

今後もGS-1を用いた研究を実施していく予定ですので、また何かご報告出来ればと思います。



▶こちらのQRコードより論文をご確認いただけます



眼科三条会・Sanjo Research Award

眼科三条会では、若手の研究奨励を目的に、『Sanjo Research Award』という学術奨励賞を設けております。『Sanjo Research Award』は医師に限らずコメディカルでも応募可能ですので、多くの方にチャレンジをしていただきたく考えております。

対象者

以下の①～④をすべて満たす者

- ① 関係施設にて勤務をされている方(医師で無くても応募可能)
- ② 応募年の1月1日現在で45歳以下。
- ③ 過去3年間に、リサーチアワード大賞を受賞されていない方。
※ 補足: 一度大賞を受賞をされた方は、受賞後3年間は応募を不可とする。多くの皆様にチャレンジのご機会を得ていただくため。
- ④ 応募者は、応募締め切り(※毎年1月末日とする)の前年1月1日～12月31日に発表された論文の筆頭筆者とする。

例) 応募締切: 2022年1月末日

応募対象論文: 2021年1月1日～2021年12月31日に発表の論文

※ 雑誌発行とのタイムラグがある場合でも、PubMedで確認、もしくはEditorからのAccept Letterが12月31日迄に確認できれば認めるものとする。

選考・結果通知

- 眼科三条会リサーチアワードの選考は、選考委員会にて評価を実施し、その平均点上位1名を選出する。
- 受賞者には、結果を5～6月末日頃(同年総会開催月前)までに通知する。
- 毎年6～7月開催の総会にて受賞者の表彰をし、その後、直近の眼科三条会勉強会にて、受賞者による『受賞記念講演』を実施する。
※ 選考委員会メンバーは、応募論文のCo-authorに含まれている方は、可能な限り除外とする。

リサーチアワード判定基準

研究の評価を以下の2項目について5段階評価し、その後掲載論文のインパクトファクターを加えて点数化する。

- ① アイディアの獨創性 [獨創性なし 0点 ~ 獨創性が非常に高い 5点]
 - ② 臨床への有用性 [有用性なし 0点 ~ 有用性が非常に高い 5点]
- + インパクトファクターのサイトスコア

副賞 ★ 賞金30万円(賞金の使用用途に規制は設けない) ★ ホームページ、アニュアルレポートへの寄稿

皆さまのチャレンジをお待ちしております!

2024年 論文掲載のご案内

小島 隆司 医師 | 名古屋アイクリニック

Takashi Kojima



小島 隆司 医師

| タイトル |

Effect of Intraocular Lens Power Calculation Formula Optimization in the Sum-of-Segments Optical Biometer.

| 掲載誌 | Clinical Ophthalmology. 2024 Sep 6;18:2545-2553

白内障手術において正確な眼軸長測定は言うまでもなく重要です。

昨今、眼球のそれぞれの組織の屈折率を測定して、より本来の眼軸長に近い値を算出するアルゴスという検査機器が広く使われつつあります。

しかし、一つの問題点として、元々の眼内レンズ計算式が、従来の方式の眼軸長を使用することを前提で作られているため、アル

ゴスの眼軸長を使用するとかえってズレが大きくなることがあります。それが短眼軸と長眼軸の眼です。

今回の研究では、多施設で短眼軸と長眼軸の症例を集め、アルゴスを使用する際にIOL定数を最適化したら、より結果は良くなるのかどうかを検証しました。

結論として、長眼軸ではBUII式で、短眼軸ではSRK/T式とBUII式の両式で予測屈

折誤差の改善を得ることができました。

最後にこの場を借りて、多施設研究にご協力いただいた先生方、データ入力を担当いただいた各施設のスタッフの皆様にご感謝申し上げます。

Clinical Ophthalmology



高木 勇貴 医師 | JCHO 中京病院 眼科

Yuki Takagi



高木 勇貴 医師

| タイトル |

Incomplete homonymous hemianopsia progressing to junctional scotoma due to a large internal carotid artery aneurysm: A case report.

| 掲載誌 | Clinical Case Reports. 2024 Apr 30;12(5):e8872

接合部暗点は、患側の中心暗点と対側の上耳側1/4半盲を特徴とする稀な視野障害です。視交叉の前方で脳腫瘍や脳動脈瘤などによって圧迫されることにより、視神経が障害され生じるとされています。今回の論文では、未破裂大型脳動脈瘤によって視交叉の前方が障害されたものの、当初は患側の鼻側優位な視野障害を呈し、のちに接合部暗点となった症例の経

過を報告しています。脳動脈瘤による視野障害は、既報などを参照すると、接合部暗点を呈したものの、鼻側優位の視野障害を呈したものもあり、様々な視野障害を来すと考えられています。今回の報告からは、圧迫の程度や期間によって、脳動脈瘤による視野障害は変化しうること、またその視野障害も緑内障との鑑別が大変重要な鼻側の視野障害を呈することも示しています。仮

に鼻側の視野障害を呈する症例でも、視神経の色調に異常のある症例や進行が速い症例では、頭蓋内精査を積極的に行うなど警鐘を与える内容と思います。

Clinical Case Reports



※各論文、QRコードより掲載情報をご確認いただけます。



大坪 充 医師

| タイトル |

Endoscopic Surgery for Congenital or Acquired Cataract Associated with Persistent Fetal Vasculature: A Case Series.

| 掲載誌 | Retinal Cases & Brief Reports. 2024 Jul 19. doi: 10.1097/ICB.0000000000001634.

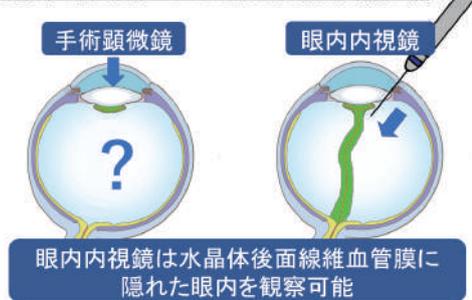
眼内内視鏡は、顕微鏡手術では対象が角膜混濁などで遮られている際に、眼内に挿入し直接対象を観察することができるデバイスです。顕微鏡手術と組み合わせることで眼内の死角がほとんどなくなるため、網膜硝子体手術に有用です。今回の論文は、Persistent Fetal Vasculature(第一次硝子体過形成遺残)併発白内障に対して内視鏡手術の有効性の報告をcase seriesで行っています。PFV併発白内障は水晶体後面に線維血管膜を形成するため、眼内の観察が困難です。さらに、眼内にはVitreous stalkと呼ばれる索状物を形成し、牽引性網膜剥離を併発する場合があります。線維血管膜を切除するとstalkを損傷する可能性があります。

stalkに剥離網膜が含まれていた場合には、網膜裂孔を形成したり、硝子体出血を発症する可能性があります。そのため、線維血管膜を避けて、眼内の硝子体に内視鏡を挿入し、stalkの性状を確認することで、安全な手術アプローチ法を決定するという内容です。stalkに剥離網膜が含まれていた場合は、線維血管膜+stalkを温存、stalk内に網膜や血管を認めない場合は切除する、といった具合です。論文を執筆するにあたり、ご指導くださった先生方に感謝申し上げます。

今後も内視鏡手術の有効性など発信できるよう尽力いたします。

RETINAL CASES
& BRIEF REPORTS®

第一次硝子体過形成遺残における眼内内視鏡併用手術模式図



西田 知也 氏

| タイトル |

Discriminant prediction equation using an optical biometer for identifying postmyopic laser vision correction eyes.

| 掲載誌 | Journal of Cataract & Refractive Surgery. 2024 Nov 1;50(11):1151-1156

LASIKを代表とする laser vision correction(LVC)術後の患者に対する眼内レンズ(IOL)計算式は、LVC術後専用の計算式を用いるのが一般的です。しかし、患者からLVCの既往歴の申告がなく、一般的な計算式で眼内レンズの度数計算を行うと、術後に大きな屈折誤差が生じることがあります。近年、角膜疾患のスクリーニングのために角膜トポグラフィを搭載した光学式眼軸長

測定装置も登場していますが、角膜トポグラフィの測定径は小さく、角膜周辺部の屈折力の変化領域を捉えることができないため、LVCの判別が困難な場合があります。本研究では、OA2000(TOMEY)に搭載されているトポグラフィを用いてLVC判別予測式を作成しました。その結果、LVC眼と正常角膜眼を高精度で判別可能な式を作成することが出来ました。

今後、白内障診療において、本検討の予測式を用いて角膜のスクリーニングを行うことで、誤った眼内レンズ度数式を使用するリスクを低減できる可能性が期待されます。

JCRS
Journal of Cataract & Refractive Surgery®

新規施設のご紹介

医療法人 豊潤会 たなけん脊椎・眼科クリニック

医院情報

診療時間		休診日:日曜日、祝日						
	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
整形外科	9:00~12:00	●	手術	●	●	●	●	/
	15:00~17:30	●	手術	●	手術	●	/	/
眼科	9:00~12:00	●	●	●	手術	●	●	/
	15:00~17:30	●	検査予約	●	手術	●	/	/

住所 | 〒491-0858 愛知県一宮市栄2丁目12-14

公共交通機関でお越しの方へ

名鉄一宮駅、JR尾張一宮駅徒歩2分。
一宮駅は、名古屋駅から電車で約10分、岐阜駅から約8分です。

Webサイト

お車で お越しの方へ

名古屋高速16号一宮線、一宮東出口より車で約14分。
第一駐車場、第二駐車場合わせて40台ございます。※無料
満車の場合はお近くのパーキングをご利用ください。※有料

TEL | 0586-71-2375 | Webサイト | <https://tanaken-cl.com/>



施設のご紹介

院長 | 田中 健一郎医師 (整形外科) | 副院長 | 田中 陽子医師 (眼科)

一宮の眼科医療を長年にわたり支えてこられた、松浦眼科を事業継承し、新たに19床の入院設備を備えた脊椎手術および眼科手術ができる『たなけん脊椎・眼科クリニック』を2024年3月より開業させていただくことになりました。

これから一宮、あるいは周辺の地域の患者様の脊椎・眼科手術を中心とした治療でお支えしたいと考えております。

当院の理念“当院に集うすべての患者様、ご家族に幸福をもたらすクリニックを目指す”をモットーに脊椎、眼科の患者様の不安なお気持ちに寄り添い、丁寧な診察、説明、治療を心掛け、患者様を幸福にして差し上げる事のできるよう努めて参りますので、たなけん脊椎・眼科クリニックをどうぞよろしく願い申し上げます。



施設ご紹介・院長交代のご案内

医療法人 中村眼科

施設のご紹介・新院長のご挨拶

院長 | 野口 真由美医師

中村院長のときはいろいろお世話になりました。

2024年4月、中村公俊院長より中村眼科を受け継ぎました。当院は名称も医療法人中村眼科のまま、スタッフも変わっておりません。医院の場所は松本市の中心地、ひな人形のお店が並ぶ通りの端に位置し、お寺と井戸が目の前です。井戸は松本市の観光地の一つとなっており、有名なタレントさんが撮影をされていることもあります。医院前の道は細く一方通行ですが、患者様は近隣からはもちろんですが、市外からも多くいらっしゃいます。

医院を受け継ぐにあたって、展望やら方針やら考えていたのではないので、今になって大変なことになってしまったとあたふたしています。ご来院された方のお気持ちが少しでも元気になって帰れるような医院を目指したいと思います。

今後もお手伝いをいただいたり、何かとご迷惑をかけることもあるかと思いますが、中村院長の時以上によろしく願いいたします。



ゆめが丘眼科・横浜 ゆめが丘ソラトス院

医院情報

診療時間 | 休診日:木曜日 ▲…14:30~18:00

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~12:30	●	●	●	/	●	●	●
14:30~18:30	●	●	●	/	●	▲	▲

住所 | 〒245-0019
神奈川県横浜市泉区ゆめが丘31番地 ゆめが丘ソラトス1 2階

公共交通機関でお越しの方へ | ドラッグストアハックドラッグ前のエスカレーター(エレベーター)で2階へ移動、アウトドア用品店WILD-1の奥にございます。

お車で
お越しの方へ | 立体駐車場1の2階からソラトス1店内入ってすぐ右手にございます。

TEL | 045-803-1313

Webサイト | <https://eyeclinic-yumegaoka-yokohama.jp/>

Webサイト



施設のご紹介

院長 | 三田村 勇人医師

当院は神奈川県横浜市の大規模集客施設ゆめが丘ソラトス(2024年7月open)に新規開業致しました。相鉄線いずみ野線ゆめが丘駅直結、横浜市営地下鉄ブルーライン下飯田駅徒歩1分の立地です。白内障、緑内障、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症、糖尿病網膜症などの網膜硝子体疾患、角結膜炎、ドライアイ、眼精疲労などの診療を現在行なっております。スタッフ一同、真摯に患者様と向きあった診療を目指しております。今後とも宜しく願い申し上げます。



施設のご紹介

医院情報

診療時間 | 休診日:水曜日、日曜日、祝祭日 ▲…受付時間 15:30まで

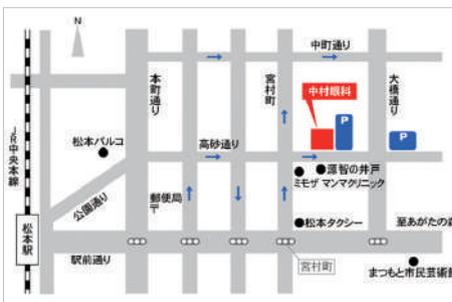
受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	/	●	●	●	/
14:00~16:30	●	●	/	●	●	▲	/

※手術日、及び翌月曜日は混雑が予想されます。

住所 | 〒390-0811
長野県松本市中央3-6-22

アクセス

JR松本駅下車徒歩10分。公園通り・高砂通りを東へ。宮村町を越えて『源智の井戸』の前にあります。車でお越しの場合、当院周辺は一方通行の通りがあるため(青矢印の方向に進行できます)、ご注意ください。



Webサイト



TEL | 0263-35-9539

Webサイト | <https://www.nakamura-ganka.com>



医師の所属施設紹介

独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 眼科

高度機能病院として、白内障、網膜硝子体、緑内障、角膜など幅広い難治性疾患の治療を行っております。特に、当院の特徴である内視鏡併用硝子体手術は国内有数の実績があり、治療困難な外傷などの超難治症例は、全国の大学病院からもご紹介をいただいております。当院は全国でも珍しく、単独で眼科専門医を習得することができる総合病院です。研修基幹施設として眼科専攻医の教育をしており、2024年度には3名が入局し、2025年度も新たに2名が入局予定です。今後、教育などでお世話になりますが、よろしくご指導お願いいたします。当院は、世界的にも珍しい内視鏡併用硝子体手術を行っており、国内留学も受け入れております。2024年3月に1名卒業しましたが、同年7月から新たに1名加わりました。今後も教育施設として、学会発表、論文作成や新しい手術器具の開発など精力的に行っていきたいと思っております。



スタッフ紹介

- 診療部長：加賀 達志
- 医 長：渡邊 三訓、松田 泰輔
- 医 師：澤木 綾子、高木 勇貴、城山 彰太、岸 孟史(国内留学中)
- 非常勤医師：吉田 則彦、小島 隆司

2024 Movement

01 JCHO可児とうのう病院が 中京病院眼科専門医プログラムの関連施設として認定

地域医療機能推進機構(JCHO)は、2014年4月に社会保険、厚生年金、船員保険病院の3つの団体が統合された全国57病院からなる独立行政法人です。JCHO中京病院は、2023年度4月より仲間であるJCHO可児とうのう病院 眼科の医療支援を行ってまいりました。高木勇貴医師を中心に眼科診療、手術を充実させ、外来ならびに手術数は着実に増加しました。その実績が認められ、2024年度より中京病院専門医プログラムの関連施設として正式に認定されました。今後も専攻医教育を充実させるとともに、ますます地域の眼科施設と連携を強化して、地域の基幹施設として信頼されるように精進させていただきます。



「地域の医療・福祉を支える」
JCHO可児とうのう病院

2025 VISION

中京病院は、地域医療構想、地域医療計画の実現に向け、公的医療機関に求められる役割を果たすために、高度急性期・急性期医療を担い、総合病院としての特徴を活かした5疾病6事業に対応できる病院を構築するため、2023年より新棟建設を行ってまいりました。今年になり新棟本体の建設も始まり、2025年末には完成予定です。その後、2年をかけて本体の改修や駐車場整備などを行い、中京病院全体が整備され完成します。新棟では、手術室が拡充され、これまで以上に安全・確実、より高精度な手術治療が可能になるかと考えております。



独立行政法人 地域医療機能推進機構
中京病院 眼科

〒457-8510 愛知県名古屋市中区三條1-1-10
TEL: 052-691-7151(代) FAX: 052-691-6053

ホームページはこちらから



日本赤十字社 岐阜赤十字病院 眼科

岐阜赤十字病院は、岐阜駅から車で約10分、岐阜市の長良川沿いに位置する総合病院です。眼科は、医師8名（常勤5名、非常勤3名）、CO7名とスタッフも充実しており、年間約2,544件もの手術を行なっています。硝子体専門医、白内障専門医、緑内障専門医が在籍し、幅広い対応が可能です。



所属施設紹介

スタッフ紹介

- 部長：吉田 則彦
- 医師：三田村 麻里、岡村 周子、志賀 優、大鹿 太郎
渡邊 三訓(非常勤:JCHO中京病院 眼科 医長)、小島 隆司(非常勤:名古屋アイクリニック)、
近藤 奈津(非常勤:近藤療院眼科 院長)
- 視能訓練士：7人 ● 看護師：2人 ● 医療事務：2人

手術実績

	白内障	網膜硝子体	緑内障	角結膜	角膜移植	眼形成涙道	屈折矯正 (ICL)	硝子体注射	その他	合計
2023年	863件	207件	93件	78件	8件	25件	3件	477件	18件	1,772 件
2024年	1,314件	284件	127件	65件	14件	44件	6件	674件	16件	2,544 件

※2023年は4月～12月の件数となります。 ※白内障には、緑内障、網膜硝子体との同時手術を含む。

2024 Movement

01 大鹿太郎医師が常勤医として加わりました

新たに大鹿太郎医師が常勤医師として加わり、医療チームの体制がさらに強化されました。大鹿医師の加入により、クリニックからの紹介患者をこれまで以上に多く受け入れることが可能となり、地域医療機関との連携が一層充実しています。

また、大鹿医師は白内障手術を中心に積極的に執刀しており、手術件数の増加に大いに貢献しています。外来では新規患者の診察にも力を入れ、専門医の資格取得に向けて日々研鑽を重ねています。



大鹿 太郎医師

02 手術件数の増加

2024年は手術件数が大幅に増加しました。地域の患者の皆様さらなる視力回復を提供する体制が強化されています。また、硝子体手術、眼瞼下垂手術、緑内障インプラント挿入術も増加しており、各分野において質の高い医療サービスを維持しつつ、迅速な対応が可能になっています。引き続き先進的な技術を活用することで、患者様の満足度を高め、より質の高い医療サービスを提供できるよう努めてまいります。

2025 VISION

岐阜県の眼科基幹病院として、地域の患者様が安心して治療を受けられるよう、幅広い眼科疾患に対応する体制の充実を図ってまいります。慢性疾患から緊急疾患まで、包括的かつ質の高い医療サービスを提供できるよう、各分野の専門性を一層強化していく予定です。2025年は、地域のクリニックとの協力関係をより深め、スムーズな受け入れ体制を整備することに注力します。さらに、最新の医療技術や革新的な治療法の導入にも積極的に取り組み、患者様に最適な治療とケアを提供するため、進化し続けることを目指します。

日本赤十字社
岐阜赤十字病院 眼科

〒502-8511 岐阜県岐阜市岩倉町3丁目36番地
TEL: 058-231-2266(代) FAX: 058-233-7772

ホームページはこちらから



医師の所属施設紹介

名古屋アイクリニック

当院は屈折矯正手術専門医院として設立されましたが、その後、白内障手術、角膜・ドライアイ治療など、前眼部治療の専門性の高い治療を行う施設として発展してまいりました。そして、一昨年からは、緑内障や網膜硝子体のエキスパートドクターをお招きし、幅広い分野の専門医が揃ったクリニックとなってまいりました。

当院で手術を受けられた医師は累計500名を数え、医師に選ばれるクリニックとしても知られています。

治療効果だけでなく、接遇やサービスにも力を入れており、患者様に安心して過ごしていただけるようスタッフ一同、切磋琢磨しております。



スタッフ紹介

- 院長：中村 友昭 ● 副院長：吉田 陽子
- 医師：小島 隆司、山崎 和子
- 非常勤医師：加賀 達志、渡邊 三訓、吉田 則彦、松田 泰輔、澤木 綾子、欄 崇子、三田村 麻里
- 視能訓練士：9人 ● 看護師：8人 ● 医療事務：10人

● 手術実績

	屈折矯正	白内障	多焦点眼内レンズ
2022年	1,579件	1,469件	282件
2023年	2,007件	1,787件	345件
2024年	1,600件	1,800件	272件

2024 Movement

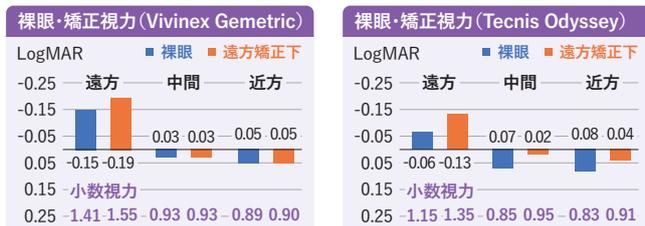
01 日帰り内視鏡硝子体手術開始

2024年の実績数 硝子体手術:29件 白内障+硝子体同時手術:25件

手術は網膜硝子体のエキスパート医師である、加賀達志医師と吉田則彦医師が担当しています。信頼のおける、熟練の医師が手がける技術により、安心・安全な眼内視鏡を用いた硝子体手術を実施しております。

02 多焦点レンズ: Vivinex Gemetric・Tecnis Odyssey開始

HOYA社から日本発の3焦点眼内レンズ「Vivinex Gemetric」と、AMO社からは、従来の連続焦点型多焦点レンズ「シナジー」より更に不快光視現象の軽減が期待できる「Tecnis Odyssey」が発売されたのを機に、積極的に使用しております。第78回日本臨床眼科学会の企業共催セミナーでは、中村友昭院長がVivinex Gemetricの早期成績について報告いたしました。期待通りのよい結果により、今後はメインの多焦点眼内レンズになる可能性が示唆されます。



<Vivinex Gemetric 視力>
Tecnis Odysseyについても、早期ではあるものの、良好な視力と患者様満足度を得ることができています。

<Tecnis Odyssey 視力>
両者とも夜間の不快光視現象の発生はあるものの、従来の3焦点眼内レンズと比較して少ないことが期待されます。

03 飛蚊症外来スタート

50代以降の患者様で「飛蚊症」に悩んで受診される方は少なくありません。従来、この症状の治療には経過観察や硝子体手術が選ばれてきましたが、新たな低侵襲治療法「レーザービトレオライシス」が注目を集めており、当院でも治療を開始しました。

レーザービトレオライシスとは?

レーザービトレオライシスは、YAGレーザーを用いて飛蚊症の原因となる硝子体内の混濁を細かくし、視界への影響を軽減する治療法です。手術ではなく、外来にて短時間(通常15~20分)で治療が可能です。レーザー治療に際して患者様は特に痛みを感じることはありません。日帰りで治療可能で、当日は散瞳しているものの行動制限は特になく、その日に日常生活に復帰できます。レーザー治療で治療困難な症例については、硝子体手術のご案内もさせていただきます。



◇ 飛蚊症外来担当: 吉田則彦医師

2024年の年末より、小島隆司医師により、日本初の円錐角膜実質移植(CAIRS:ケアーズ)を開始しました。これにより円錐角膜患者様の治療の選択肢の幅が広がりました。また、2025年4月より、高木勇貴医師によるシャント手術を中心とした緑内障手術を開始予定です。さらに、2025年春には、VISUMAX800を日本初導入し、SMILEも進化します。このように名古屋アイクリニックは、これからも治療の質とともに幅も広げ、患者様のより良い視機能に貢献したいと考えております。

2025 VISION

医療法人REC
名古屋アイクリニック

〒456-0003 愛知県名古屋市熱田区波寄町24-14
COLLECT MARK 金山2階 TEL: 0120-758-049

ホームページはこちらから



施設のご紹介

広島眼科

心づかいと思いやりからなる確かな信頼 そしてほっとこころ温まるお弁当

広島眼科(院長 広島康二医師)は、愛知県稲沢市の名鉄名古屋本線 国府宮駅から徒歩10分ほどの場所にあり、広大な駐車場が完備されています。同敷地内に皮膚科もあり、両科を受診される患者様から喜ばれています。

白内障手術日は隔月に2日ずつあり、手術は朝から20~30件ほど行います。午前中に終了する日もあれば、午前午後に分けて行うこともあります。

広島院長&CO
若尾様より

診療に力を入れている点

幅広い治療を行っていますが、4年ほど前よりオルソケラトロジーの治療を開始しております。導入を検討している時に、名古屋アイクリニックさんの勉強会に参加し、近視の進行予防効果が大きいということで当院でも導入しました。お客様の通院患者さんも多く、オルソケラトロジーを開始されるお子様も増えましたので、さらに力を入れていきたいと思っています。

その他については、新たに何かをやるというよりも日々の診療を粛々とやっていきたいと考えています。

眼科三条会への要望

これまで同様、優しくしてください(笑)。執刀医の吉田先生も信頼していますし、眼科三条会の看護師さんとスタッフも良好な関係で手術を行っています。

今後も、何か困ったことがあれば相談しながらやっていければと思っています。



↑ 広島眼科のスタッフの皆さまと



眼科三条会
看護師より

広島眼科さんのスタッフの方々は、とても温和でコミュニケーションもよくとれていて、緊張感のある中でも、和やかな落ち着いた雰囲気の中で手術が行われています。執刀医もとても気持ちよく手術されている印象です。

また、手術の日の昼食は、豪華なお弁当をいただいています。こちらのお弁当はスタッフの方のご実家が営む「えびかつ・とんかつ「あい葉」」さんのお弁当で、毎回おかずがたくさん敷き詰められていて、私たち三条会看護師もとても楽しみにしています。これからも協力し、安全第一で手術業務を行えたらと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



眼科三条会 看護師
藤田美紀子

えびかつ・とんかつ「あい葉」

〒492-8144
愛知県稲沢市小池2丁目19-3
TEL: (0587) 22-1922



ホームページ



Instagram



【 常勤施設 】



**独立行政法人 地域医療機能推進機構
中京病院 眼科**
〒457-8510 愛知県名古屋南区三条1-1-10
TEL:052-691-7151(代)



日本赤十字社 岐阜赤十字病院 眼科
〒502-8511 岐阜県岐阜市岩倉町3-36
TEL:058-231-2266(代)



医療法人REC 名古屋アイクリニック
〒456-0003 愛知県名古屋熱田区
波寄町24-14 COLLECT MARK金山 2階
TEL:0120-758-049

【 非常勤施設 】

地域	医療機関名	住所	電話番号
愛知県	医療法人涼真会 茶屋ヶ坂眼科クリニック	〒464-0092 愛知県名古屋千種区茶屋が坂2-5-2	052-711-8880
	富田眼科クリニック	〒454-0985 愛知県名古屋市中川区春田3-9	052-302-8688
	医療法人 川本眼科	〒457-0013 愛知県名古屋南区寺崎町13-11	052-824-0800
	医療法人景山会 原田眼科	〒459-8001 愛知県名古屋緑区大高町天神75	052-625-5335
	社会医療法人大雄会 大雄会第一病院 眼科	〒491-8551 愛知県一宮市羽衣1-6-12	0586-72-1211
	医療法人豊潤会 たなけん脊椎・眼科クリニック	〒491-0858 愛知県一宮市栄2-12-14	0586-71-2375
	医療法人彩明会 林眼科クリニック	〒487-0034 愛知県春日井市白山町5-2-2	0568-51-3500
	医療法人alce 大鹿眼科	〒496-0045 愛知県津島市東柳原町4-27	0567-23-0900
	田中眼科	〒447-0807 愛知県碧南市伏見町3-21	0566-43-5331
	こじま眼科	〒470-0373 愛知県豊田市西郷町宮下河原27-4	0565-46-5611
	さくらい眼科クリニック	〒444-1155 愛知県安城市堀内町カラ桶3-1	0566-73-7676
岐阜県	広島眼科	〒492-8230 愛知県稲沢市稲島東3-129	0587-23-1004
	医療法人新生会 八幡病院	〒501-4228 岐阜県郡上市八幡町桜町278	0575-65-2151
	医療法人社団至光会 小森眼科	〒501-0565 岐阜県揖斐郡大野町中之元1124	0585-34-3535
独立行政法人 地域医療機能推進機構 可児とうのう病院 眼科	〒509-0206 岐阜県可児市土田1221-5	0574-25-3113	
長野県	医療法人 中村眼科	〒390-0811 長野県松本市中央3-6-22	0263-35-9539
千葉県	本橋眼科クリニック	〒273-0005 千葉県船橋市本町2-28-27	047-420-2001
神奈川県	ゆめが丘眼科・横浜 ゆめが丘ソラトス院	〒245-0019 神奈川県横浜市泉区ゆめが丘31 ゆめが丘ソラトス1 2階	045-803-1313
山口県	医療法人 小林眼科	〒753-0070 山口県山口市白石2丁目6-52-1	083-932-1236

【 協力体制にある施設及び医師 】

医師	医療機関名	住所	電話番号
内藤 尚久	内藤眼科	〒453-0036 愛知県名古屋市中村区森田町1-5-2	052-461-0010
馬嶋 清如	眼科 明眼院	〒454-0843 愛知県名古屋市中川区大畑町2-14-1 コーポ奈津1階	052-355-0007
浅野 亮	医療法人 浅野眼科	〒455-0801 愛知県名古屋港区小碓2-272	052-381-5770
戸塚 伸吉	医療法人 とつか眼科	〒457-0808 愛知県名古屋南区松下町1-1	052-613-4001
原 修哉	医療法人確全会 原眼科クリニック	〒491-0053 愛知県一宮市今伊勢町本神戸字無量寺東10-1	0586-23-0303
小谷 鐵馬	小谷眼科	〒510-0096 三重県四日市市中町8-13	059-352-9161
菅田 昌則	医療法人奏和会 菅田眼科クリニック	〒891-0109 鹿児島県鹿児島市清和4-5-33	099-284-9070



医師の募集

現在、眼科三条会では下記に該当する眼科医師を募集しています。

- 臨床のスキルを磨きたい非専門医
- 勤務医として自分の専門領域を磨き続けたい専門医
- 開業までの間にネットワークを築きたい医師



コメディカルの募集

現在、コメディカル(看護師、視能訓練士)を募集しています。

複数の施設で技術を向上させながら、自分の専門職としてのキャリアを磨けるのが特徴です。働き方も柔軟に対応が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。



協力医療機関の募集

眼科三条会は、会に所属する勤務医と共に地域における高度な眼科診療を目指す協力病院・医院を募集しています。

- 新規で施設を立ち上げる際のサポート
 - 2代目(次の代の先生)に継承するまでの繋ぎの期間の手術サポート
 - 手術の効率化
- など、お困りのことがございましたらご連絡ください。

眼科三条会では以下のものをご提供いたします。

眼科医師の教育 専門外来 看護師、視能訓練士の手配

オンライン勉強会による最新知識のアップデート 医療資源の共有

白内障、網膜硝子体、緑内障、角膜・屈折矯正の手術

手術のご経験がない施設スタッフ(看護師・視能訓練士)の教育

お問合せ先

眼科三条会 (一般社団法人 地域医療に貢献する会)

電話 052-291-4450

MAIL info@sanjogroup.jp

● 専門医紹介 渡邊 三訓、松田 泰輔、浅野 亮、高木 勇貴、志賀 優、城山 彰太

※松田医師は硝子体班ですが、兼任でアーメド緑内障バルブ手術やバルベルトインプラント手術を行っています。 ※浅野医師には、外部協力者としてご協力頂いております。

● 2024年 手術実績

緑内障手術	内 訳		2023年		2024年	
	内 訳	2023年	2024年	内 訳	2023年	2024年
	流出路再建術(眼内法)	39件	37件	緑内障治療用インプラント挿入術(プレートあり)	3件	11件
	濾過手術	10件	10件	水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術	39件	44件
	緑内障治療用インプラント挿入術(プレートなし)	8件	25件	濾過胞再建術(needle法)	2件	6件
《 合 計 》		2023年:101件		2024年:133件		

※各術式は水晶体再建等の同時手術を含みます。

※上記表は、JCHO中京病院、JCHO可児とうのう病院の件数は含まれておりません。2施設の件数につきましては、病院のホームページより直接ご確認ください。

● 緑内障専門外来日

施設	月	火	水	木	金
JCHO中京病院 眼科	高木 勇貴 [終日]病診予約※4月以降は午後のみ	渡邊 三訓 [午前]病診予約	城山 彰太 [午前]病診予約	浅野 亮 [午前]病診予約	渡邊 三訓 [午前]病診予約
岐阜赤十字病院 眼科		志賀 優	志賀 優	志賀 優	
名古屋アイクリニック			渡邊 三訓 [午後・月1回]	高木 勇貴 [午前]※4月以降開始	松田 泰輔 [午後・月1回]
JCHO可児とうのう病院		高木 勇貴 [午前]病診予約 ※4月以降開始		高木 勇貴 [午前]病診予約	高木 勇貴 [終日]病診予約 ※4月以降開始

2024年活動報告

Report 1 | 渡邊三訓医師が常勤医へ入職

2024年7月より渡邊三訓医師が中京病院の常勤医となりました。渡邊医師の常勤化に伴い、昨年度まで空白でした火曜日に渡邊医師の緑内障専門外来が増設されました。また、手術日も月曜日の緑内障手術枠が新設され、毎日緑内障診療、及び緑内障手術の実施が可能となりました。



渡邊 三訓 医師

Report 2 | 内視鏡的毛様体光凝固術の導入

本邦において長年実施することの出来なかった内視鏡的毛様体光凝固術(ECP)が保険収載されました。当院では以前より、マイクロパルス毛様体光凝固術(MP-CPC)は導入していましたが、より重篤な症例への治療効果としては不十分であり、より眼圧下降効果が強く、かつ安全性及び侵襲の低い治療の必要性を感じていました。ECPは、濾過手術不成功例にも治療効果を期待でき、かつ低侵襲とされています。当院でも2025年2月以降、実施可能となりました。



※FiberTech社ホームページより抜粋

Report 3 | 学術報告

松田 医師	第47回日本眼科学術学会学術総会「内視鏡ライトガイドを利用したアーメド®バルブ毛様溝挿入」 ICGS 2024 (12th International Congress on Glaucoma Surgery) 「Malignant glaucoma in nanophthalmos treated with 25-gauge endoscope-assisted pars plana anterior vitrectomy and hyaloidectomy: a case report.」
高木 医師	第128回日本眼科学会総会 「虹彩形状(I-Curv)の年齢別検討」 第13回日本視野画像学会学術集会 「imo vifa24plus(1-2)における中心10度の視野異常による影響の検討」 KOWA Web カンファレンス 「当院における緑内障点眼治療について」 第35回日本緑内障学会 「imo vifa24plus(1-2)による中心10度内における視機能評価の検討」 第78回日本臨床眼科学会 「GS-1と前眼部OCT(CASIA2 Advance)の隅角閉塞の検出能の比較検討」
志賀 医師	第15回 眼科内視鏡研究会 「角膜穿孔後に生じた閉塞隅角緑内障に対して眼内内視鏡を用いた隅角癒着解離術を施行した1例」 第39回 JSCRS学術総会 「広範囲なチン氏帯断裂に対しカプセルエキスパンダーを強膜内固定し眼内レンズを囊内挿入した1例」

2025年のビジョン

2025年度よりJCHO可児とうのう病院の眼科常勤化、及び緑内障診療体制の拡充を行います。それに伴い、高木勇貴医師が中京病院から可児とうのう病院へ異動となります。ただし、中京病院での月曜日の緑内障診療枠は継続予定となります。可児とうのう病院へ高木医師が異動となることで、可児とうのう病院での緑内障診療枠が増設され、これまで施設基準を満たさず実施が出来なかった流出路再建術、眼内ドレーン挿入術、ロングチューブシャント手術が可能となります。2025年度より、これらの手術も可児とうのう病院でも実施をしていく予定です。
岐阜県可児市を中心とした医療圏における地域医療に緑内障治療を通じた貢献と、中京病院との連携の深化を目標としてまいります。

白内障・眼内レンズ

Cataract · Intraocular lens

● 専門医紹介

吉田 則彦、小島 隆司、澤木 綾子、三田村 麻里

2024年活動報告



ESCRS 2024での発表の様子(澤木医師)



ウェットラボでの様子

Report 1

白内障手術教育

～合併症が少なく早く上達できる体制を目指して～

これまで自発的に行っていた白内障手術や基本手技のウェットラボですが、2024年から専門医が毎回テーマを決めておこなうようにしました。これまでに、切開、縫合、超音波乳化吸引などの手技の練習を行いました。

また、水晶体嚢を誤吸引しても破囊しづらい超音波チップ、INTREPID® Hybrid Tipについて、今後初心者の手術教育にどのように役立てられるのか検討し、眼科手術学会及びESCRSの一般口演にて報告しました。今後も、新しい技術を取り入れながら、専攻医の先生が早く育つような手術教育体制を整えていきたいと思えます。

Report 2

白内障エビデンスクラブ(白エビ)における活動

白内障エビデンスクラブ(通称白エビ)は、宮田眼科病院の宮田和典医師を代表世話人として、2021年に発足しました。2021年に発足した白エビは、臨床で直面する白内障手術の諸問題を、いわゆる個人的な感想や不十分なデータによる評価ではなく、臨床研究をもとにした確固たるエビデンスを元に解決するための会であります。最近ホームページもオープンになりました。

(<https://www.miyata-med.ne.jp/cataract-evidence-club/>)

当会理事の小島隆司医師は、この白エビのメンバーとして活動しています。2024年は、これからの難症例白内障手術というテーマで様々な話題をとりあげ、小島医師は屈折矯正手術後の白内障手術というテーマで一般口演及びモーニングセミナーでの講演を行いました。我々は屈折矯正グループとも協力し、レーシック、ICL、アルチザン術後の白内障手術の屈折誤差を最小限にして、患者満足度を高めることを目指しています。

白内障エビデンスクラブWebページ▶



(小島医師左から4番目)

● 2024年 手術実績

白内障手術件数(PEAのみ、IOL挿入のみ、同時手術含む)			
施設名	2022年	2023年	2024年
岐阜赤十字病院 眼科	—	※2 863件	1,314件
外勤施設関連	※1 2,060件	6,793件	6,528件
合計(グループ全体)	2,060件	7,656件	7,842件

※1 2022年の外勤施設関連は、9月～12月の件数となります。

※2 2023年の岐阜赤十字病院 眼科は、4月～12月の件数となります。

※上記表は、JCHO中京病院、JCHO可児とうのう病院の件数は含まれておりません。2施設の件数につきましては、病院のホームページより直接ご確認ください。

Report 3 多様化する付加価値眼内レンズとその長期成績

付加価値眼内レンズは単焦点プラスが加わり、多焦点眼内レンズは焦点深度拡張型と3焦点や連続焦点などのフルレンジ多焦点の2つのタイプが開発され、将来のマーケット予測をみてもそれぞれの眼内レンズのシェアが広がっていくことが予測されています。これは、それぞれのレンズが患者様のニーズを満たす上で必要なものであり、それらをうまく組み合わせて臨床で使用していくことが患者満足度向上に繋がることを示唆しています。2024年は、澤木医師が波面制御型焦点深度拡張眼内レンズ(Vivity)の術後早期成績と患者

満足度についてJSCRS学術総会で報告しました。Vivityは50cm程度までは良好な裸眼視力を獲得でき、不快光視現象も少なく満足度が高いレンズであることが示されました。

多焦点眼内レンズは高齢者に挿入した場合には視力が十分に出ないことがあります。そこで実際に手術で挿入した患者様が長期で視機能が維持されるのか、加齢による影響は無いかが懸念されていました。小島医師はJSCRSのデータ解析委員として、JSCRS学術総会で付加価値眼内レンズ挿入眼の長期術後成績の多施設

共同研究について報告しました。その結果、長期の多焦点眼内レンズ挿入眼の視機能は良好で、視覚関連QOLも単焦点眼内レンズよりも良好な成績を示しました。今後80歳以上の高齢者に対して、多焦点眼内レンズの適応をどのように判断するのか、さらなる研究を進めていきたいと考えています。



Report 4 近年増えている眼内レンズ落下、偏位症例への対応

近年、以前に手術を受けた患者様の眼内レンズの落下・偏位症例が増えています。これは、より高齢者が増え、白内障手術件数が増えていることに関連していると思われる

ますが、2024年は4-0PVDFを用いてアクリルワンピース眼内レンズを強膜内固定する方法を吉田医師が開発し、JSCRS学術総会で報告しました。今回は眼内レンズに穴

がある特定のレンズに対応した方法でしたが、今後どんなワンピースレンズでも強膜内固定が出来るようにさらに新しい技術を開発していきたいと思えます。

2025年のビジョン

白内障手術分野は当会の要で有るため、2025年も引き続き専攻医の手術教育を充実させていきます。多焦点眼内レンズは自分たちの評価の眼をしっかりと持ち、データを分析して患者様に最良の結果を届けられるように頑張りたいと思います。

網膜硝子体 *Vitreous retina*

● 専門医紹介

加賀 達志、吉田 則彦、松田 泰輔、岸 孟史、城山 彰太

2024年活動報告

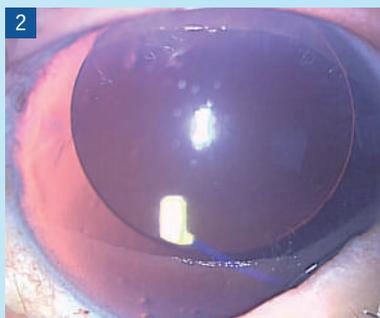
Report 1

眼外傷手術における内視鏡の有用性

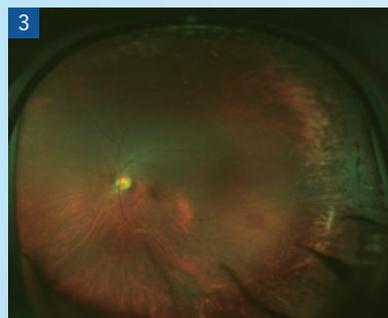
眼科三条会の硝子体手術では、ほぼ全例で内視鏡を併用していますが、眼外傷手術には内視鏡は不可欠と考えています。眼球破裂症例に対して、強膜縫合と同時に硝子体手術を行う場合、眼内の大量出血のため手術続行が困難となることがあります。このため、施設によっては強膜縫合のみを行い、後日硝子体手術を施行する場合もあるようですが、当会では眼球破裂に対して、強膜縫合と同時に硝子体手術も施行しています。内視鏡を用いることで、眼球圧迫せずに網膜周辺の硝子体切除が可能のため、強膜縫合を必要とする症例でも安全に硝子体切除ができます。また、広角観察システムで視界が得られないような大量出血でも、内視鏡ではある程度の視界が確保できることが多く、大量出血にかくれた眼内異物の発見などに有用です。眼球破裂、眼内異物などでご紹介いただいた重症例でも、内視鏡によって良好な成績が得られています。また、他施設で初回手術を施行されるも、硝子体出血が持続し再手術が困難な眼外傷症例をご紹介いただくケースも増えています。



<写真①>
眼球破裂にて水晶体、虹彩は結膜下にすべて脱出。巨大裂孔網膜剥離を認めた。

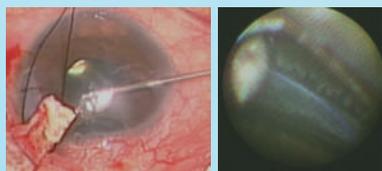


<写真②③>
初回手術で強膜縫合と同時に硝子体手術も施行。IOL強膜内固定後の最終視力は1.0。



Report 2

内視鏡を用いたアーメドバルブ毛様溝挿入



アーメドやバルベルトは難治性緑内障に有効ですが、術後の角膜内皮障害が問題と

なるため、硝子体腔挿入や毛様溝挿入が推奨されています。松田医師は内視鏡を用いて確実にチューブを硝子体腔に挿入する方法を国内外の学会で報告してきましたが、若年者に対しては(硝子体郭清を併用しない)毛様溝挿入が必要なケースが多いため、内視鏡のライトガイドを利用した毛様

溝挿入法を考案しました。毛様溝挿入は難易度が高いとされ、チューブの硝子体への迷入などの合併症が報告されています。中京病院で内視鏡ガイドによる毛様溝挿入の成功率は現時点で100%であり、安全な手術が可能です。

● 2024年 手術実績

	施設名	2022年	2023年	2024年
硝子体手術	岐阜赤十字病院 眼科	—	※2 207件	284件
	外勤施設関連	※1 33件	116件	167件
	合計	33件	323件	451件
硝子体注射	岐阜赤十字病院 眼科	—	※2 477件	674件
	外勤施設関連	※1 186件	575件	511件
	合計	186件	1,052件	1,185件

※網膜硝子体手術は水晶体再建等の同時手術を含みます。 ※1 2022年の外勤施設関連は、9月～12月の件数となります。

※2 2023年の岐阜赤十字病院 眼科は、4月～12月の件数となります。

※上記の手術実績表は、JCHO中京病院、JCHO可児とうのう病院の件数は含まれておりません。

2施設の件数につきましては、病院のホームページより直接ご確認ください。

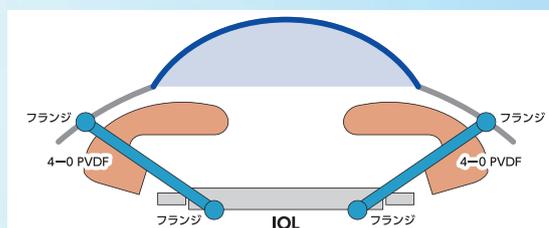
Report 3

新しいシングルピース眼内レンズ強膜内固定法

第39回JSCRS学術総会にて、吉田医師が新しい眼内レンズ(IOL)強膜内固定法を報告しました。IOL強膜内固定には3ピースIOLを用いるのが一般的です。しかし、嚢内固定に使用されるIOLはシングルピースIOLが主流です。シングルピースIOLが強膜内固定可能であれば、現在は摘出されているシングルピースIOLを再利用

して脱臼IOLの整復が可能となります。このため吉田医師は、シングルピースIOLの強膜内固定法を考案しました。4-0 PVDF糸を用いてIOLをフランジ固定するという斬新な方法ですが、4-0PVDFはIOLハプティクスと違い湾曲しておらず、直

線的で挙動がシンプルであるためIOL傾斜が小さく良好な結果が得られています。

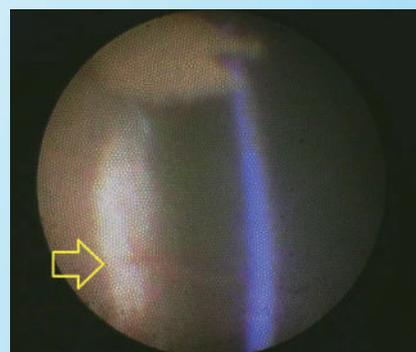


Report 4

硝子体出血の原因究明、治療に内視鏡が有用

眼外傷以外でも、原因不明の硝子体出血の治療などで苦慮することがあります。大量出血にかくれた出血源を見つけるのに内視鏡が有用ですが、虹彩裏面や毛様体など、顕微鏡では観察不可能な部位の出血源を見つけることも可能です(加賀

医師が原因不明の繰り返す硝子体出血の原因究明に内視鏡が有用だった症例を2023年に報告しました)。また、網膜下出血の原因となる脈絡膜新生血管からの出血に対しても、内視鏡を用いた網膜下アプローチが有用です。



2025年のビジョン

2024年7月に岸孟史医師が中京病院に着任しました。東京慈恵会医科大学で網膜硝子体専門医として勤務していましたが、内視鏡手術の習得を目標に日々研鑽に励んでいます。過去の我々の発表や、加賀医師が学会長を務めた日本眼科手術学会学術総会での講演が内視鏡を習得しようとするきっかけになったとのこと。今後も学会、論文発表、留学生の受け入れなどを通じて、内視鏡手術の普及、発展に努める所存です。

- **専門医紹介** 中村 友昭、吉田 陽子、小島 隆司、山崎 和子、澤木 綾子、三田村 麻里
- **視能訓練士** 9名
- **手術実績**

手術数(件)	2023年	2024年
LASIK	54件	21件
LASEK	71件	59件
ReLEx SMILE	414件	369件
ICL	1,232件	963件
角膜クロスリンク	94件	76件
PTK	162件	152件
合計	2,027件	1,640件

※上記には、JCHO中京病院、JCHO可児とうのう病院の件数は含まれておりません。2施設の件数につきましては、病院のホームページより直接ご確認ください。

2024年活動報告 ※屈折矯正分野は名古屋アイクリニックが中心になり活動しています。

Report 1 | 医師に選ばれるICL

昨今の特徴として、多くの医師がICL手術希望で名古屋アイクリニックへ来院されています。2024年は30名の医師がICL手術を受けられました。実績とともに確かなエビデンスの下、ICLを選択されたのではないかと思います。また、数多くのICL施行施設の中から同院をご選択された理由として、実績数はもとより、

2名の執刀医がエキスパートインストラクターの資格を持つこと、丁寧で精度の高い検査や、術後のフォローアップをしっかりと行っていることが挙げられています。また、医師間のネットワークでの口コミもあるようです。いずれにせよ、医療の専門家に選んでいただけることは、大変誇れることです。また、同院では患者様に

快適に手術を受けていただけるよう、様々なサービスを行っております。笑気麻酔やシャワーサービス、ホテルサービスなどを取り入れ、1日の手術件数をしぼって、快適で安心・安全な手術を受けていただけるような取り組みをしています。これからも質にこだわったICL治療を行ってまいります。

Report 2 | 進化するSMILE

SMILEは世界で1,000万件以上の手術が行われているメジャーな屈折矯正手術ですが、残念ながら日本においてはまだまだ認知度が低く、マイナーな手術として捉えられています。しかし、2023年3月に厚労省の承認を得たことにより、今後はレーザー屈折矯正手術のスタンダードになっていくのではと期待しております。

さて、SMILEのメリットとして、軽度～中等度の近視の方には、ICLと比較してグレアハローが少なく、ICLと遜色ない、良い見え方が期待できます。また、レーシックに比べ、ドライアイになりにくいのも特長として挙げられます。

2025年には、フェムトセカンドレーザーVisuMax500からVISUMAX800にupdateすることにより、短時間でより精度の高い手術ができる「SMILE pro」を名古屋アイクリニックにて本邦初導入予定です。



プロモーション
動画



Report 3 | 多焦点眼内レンズ

日本発のHOYA社によるジメトリック、AMO社のシナジーの後継機種オデッセイなどの新しい多焦点眼内レンズを積極的に導入し、現在名古屋アイクリニックでは10種類のレンズを取り揃えています。その中から、一人一人の患者様に合った最適なレンズを選択して、

お薦めしております。ご好評をいただいた、同院の中村院長はじめ5名のドクターによる「スゴ腕眼科医が教える 白内障治療」の改訂版を、2024年4月に出版いたしました。その中で、日々進化している眼内レンズの偏りのない情報が公開されています。



2025年のビジョン

2025年春には、VISUMAX800を名古屋アイクリニックが日本で初導入しSMILE proを開始します。照射スピードが4倍の速さになり、より高精度で患者様の負担や合併症の軽減も期待されます。これまで通り、ICLは近視の強い方に、中等度までの近視であれば、SMILEをと、患者様にとって最適な方法にて、安心、安全な近視矯正手術を続けてまいります。また、子どもさんに対してはオルソケラトロジーを行うとともに、レッドライトやEDOFコンタクトレンズもオプション導入していきます。



Eyerising 近視治療用機器

● 専門医紹介 小島 隆司、澤木 綾子

● 顧問 中村 友昭

● 手術実績

手術年	角膜移植術	翼状片・結膜弛緩症などその他の前眼部手術	角膜クロスリンキング
2023年	17件	328件	94件
2024年	18件	304件	76件

※上記には、JCHO中京病院、JCHO可児とうのう病院の件数は含まれておりません。2施設の件数につきましては、病院のホームページより直接ご確認ください。

● 専門外来日

施設	角膜外来	施設	角膜外来・円錐角膜外来・アレルギー外来
JCHO中京病院 眼科	月曜 [澤木 綾子] 月2回 (火曜 or 金曜) [小島 隆司]	名古屋アイクリニック	月曜・水曜・木曜・土曜(月2回) [小島 隆司]
岐阜赤十字病院 眼科	火曜(月2回)、金曜(月1回) [小島 隆司]		

2024年活動報告

Report 1 | 進行性円錐角膜に対する角膜クロスリンキングの長期成績

角膜カンファランス2024の一般講演で小島医師が発表しました。名古屋アイクリニックで角膜クロスリンキングを施行後、5年以上経過観察できた52名71眼について、後ろ向きに検討しました。裸眼

視力は術前より最終観察時点が有意に良好、角膜屈折力最大値(Kmax.)は有意に低下していました。6眼で平均K値が最終観察時点で術前より1D以上増加しており、2眼で追加のクロスリンキングを施行していました。

進行性円錐角膜に対して角膜クロスリンキングの長期的な有効性を確認しました。角膜クロスリンキングを追加した症例については、2025年の角膜カンファランスで報告を予定しています。

Report 2 | 円錐角膜に対するCAIRS(低侵襲リング状角膜実質移植)開始

以前より小島医師が注力していた円錐角膜診療に、新たな治療選択肢が加わりました。CAIRS(ケアーズ / Corneal Allogenic Intrastromal Ring Segments)です。弧状に切り出したドナー角膜片を角膜実質内に挿入することで、角膜形状の改善を目的とする手術です。CAIRSは安全性が高く非常に

低侵襲で、視機能回復までの時間も短いことが特徴です。以前よりポリメチルメタクリレート性の角膜内リングを挿入していましたが、ヒトドナー角膜組織を使用することで、より高い生体適合性を得られる可能性があります。また、円錐角膜患者に多い、目を擦る癖がある患者様の場合、角膜内リングでは、リングが露出する

合併症が起り得ます。適応は広く、ハードコンタクトレンズでの視力を向上させたい、裸眼視力を改善させたい該当の患者様がみえましたら、ぜひ名古屋アイクリニックにご紹介ください。



Report 3 | 目の愛護デー記念式典出席

2024年10月11日に開催された、目の愛護デー記念式典に出席しました。コロナ禍などもあり、4年ぶりの参列でした。ご献眼いただいたご遺族様が献花する姿を見て、角膜移植ができることへの感謝の気持ちを新たに

しました。コロナウイルス感染が流行していたころはアイバンクの停止などもあり、患者様をお持たせていましたが、愛知県内ではコロナ前程度の献眼数に戻ってきたそうです。ただ、もとも

と待機患者数に比べて献眼いただける数は少なく、ドナー不足の状況は続いています。微力ながら、アイバンクのパフレットなどを使用し、啓発のお手伝いをしています。

2025年のビジョン

2025年1月より澤木医師が東京歯科大学市川総合病院に、週に1日、研修に行くことになりました。研修に伴い、中京病院の外来日が2024年は金曜日であったのが、月曜日に変更になります。ご理解とご協力をいただけますと幸いです。研修で得た知識と経験を還元できるよう努めますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。2025年も、情報・技術をアップデートし精進していきます。お困りの症例などありましたら、角膜・眼表面グループ一丸となって精査・治療しますので、お気軽にご紹介いただけますと幸いです。

学会・セミナー

第47回日本眼科手術学会総会

2024.2.2(金)

【教育セミナー3】屈折矯正手術に必要な機器
フェムトセカンドレーザー

◆中村 友昭

【教育セミナー7】屈折矯正を重視した白内障手術
高次収差の視機能への影響と評価

◆小島 隆司

【一般講演4】白内障 その他
INTREPID® Hybrid Tipの専攻医に
おける白内障手術への影響の検討◆澤木 綾子、小島 隆司、吉岡 和樹、野口 魁斗、城山
彰太、加賀 達志【一般講演7】屈折矯正手術
Low Luminance Questionnaireを
用いたICL後のQOL調査◆西田 知也、志岡 景雅、片岡 嵩博、磯谷 尚輝、小島
隆司、吉田 陽子、中村 友昭【一般講演9】流出路再建術・チューブシャント手術
内視鏡ライトガイドを利用したアームド®
バルブ毛様溝挿入

◆松田 泰輔、加賀 達志、渡邊 三訓

【ランチョンセミナー2】分野別サーजनからみたICL手
術～白内障サーजनから網膜硝子体サーजनまで～
角膜・屈折矯正サーजनから見たICL手術

◆小島 隆司

2024.2.3(土)

【シンポジウム6】進化する有水晶体眼内レンズ
ICLのサイズと乱視度数決定のコツ

◆中村 友昭

【教育セミナー11】屈折矯正手術の実際
レーザー角膜屈折矯正手術(PRK, LASIK, SMILE)

◆小島 隆司

【学術展示1】角膜
角膜クロスリンキング後にICL手術を
施行したが最終的に抜去に至った円錐角膜症例◆大鹿 太郎、西田 知也、磯谷 尚輝、小島 隆司、中村 友
昭【学術展示4】網膜硝子体手術
中心窩剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の
術後視機能に関連する因子の検討

◆杉岡 勇貴、横山 翔、松田 泰輔、加賀 達志

2024.2.4(日)

【一般講演14】生体計測、眼内レンズ度数計算1
OA-2000を用いた円錐角膜予測式の検討◆小島 隆司、西田 知也、磯谷 尚輝、吉田 陽子、中村 友
昭【一般講演15】網膜硝子体手術症例報告
眼内レンズ強膜固定術後に硝子体出血を
繰り返した一症例

◆加賀 達志

【一般講演19】生体計測、眼内レンズ度数計算2
超音波生体顕微鏡を使用した
眼内レンズ支持部角度の調査◆馬嶋 清如、市川 一夫、玉置 明野、片岡 嵩博、磯谷
尚輝、中村 友昭

角膜カンファレンス2024

第48回日本角膜学会総会
第40回日本角膜移植学会

2024.2.9(金)

【一般講演11】円錐生体力学1
進行性円錐角膜に対する
角膜クロスリンキングの長期成績◆小島 隆司、西田 知也、澤木 綾子、磯谷 尚輝、吉田 陽
子、中村 友昭

第446回 東海眼科学会

2024.3.3(日)

【一般講演】

角膜屈折矯正手術SMILEの術後10年の成績報告

◆澤木 綾子、西田 知也、長谷川 亜里、小島 隆司、中村
友昭STAAR Surgical 3rd EVO
ICL APAC Experts Summit

2024.3.15(金)～17(日)

Session 1: Success Stories

Japan ICL Study Group: How EVO
ICL™ Achieved High Market Share.

◆Takashi Kojima

Introduction of the Lens Selection
Method in Japan: Nakamura-Kojima Formula.

◆Tomoaki Nakamura, Takashi Kojima

ロータリークラブ名古屋栄
第1418回例会

2024.4.8(月)

【講演】

人生を変える最新の白内障手術

◆中村 友昭

The 12th International Congress
on Glaucoma Surgery (ICGS) 2024

2024.4.18(木)～20(土)

【E-POSTER】ANGLE CLOSURE GLAUCOMA
Malignant glaucoma in nanophthalmos
treated with 25-gauge endoscope-assisted
pars plana anterior vitrectomy and
hyaloidectomy: a case report.◆Taisuke Matsuda, Takashi Kojima, Mitsunori
Watanabe, Sho Yokoyama, Norihiko Yoshida,
Tatsushi Kaga

第128回日本眼科学会総会

2024.4.18(木)

【一般講演】白内障・評価

前眼部光干渉断層計を使用した糖尿病例と非
糖尿病例の水晶体所見の比較◆馬嶋 清如、市川 慶、中村 友昭、磯谷 尚輝、小島 隆司、
市川 一夫

2024.4.19(金)

【一般講演】緑内障：基礎研究3 濾過胞・房水
偽落屑症候群と非偽落屑症候群における前房
水中のアミロイドβ濃度の比較◆大橋 勉、藤谷 顕雄、吉田 麻衣子、長尾 里栄子、原田
高幸、行方 和彦、小島 隆司

【学術展示】緑内障：イメージング・視野・その他

虹彩形状(I-Curv)の年齢別検討

◆高木 勇貴、浅野 亮、山下 寛奈、酒井 幸弘、横山 翔、
市川 慶、市川 一夫

第13回日本視野画像学会学術集会

2024.6.2(日)

【一般講演4】

imo vifa24-2plus1-2における
中心10度の視野異常による影響の検討◆高木 勇貴、浅野 亮、山下 寛奈、酒井 幸弘、横山 翔、
市川 慶、市川 一夫

【一般講演4】

imo Vifa®における意図的視野障害の
作成による表現型の検討

◆川口 ゆいこ、高木 勇貴、玉置 明野、加賀 達志

第15回 眼科内視鏡研究会

2024.6.8(土)

【特別講演】

角膜穿孔後に生じた閉塞隅角緑内障に対して
眼内内視鏡を用いた隅角癒着解離術を施行した
1例

◆志賀 優

【一般演題】

PFM 術後に発症した駆出性出血症例における
治療

◆加賀 達志

【一般演題】

角膜感染症を合併した続発性緑内障に
おける治療

◆加賀 達志

【一般演題】

フレンジを活用した術式

◆吉田 則彦

第39回 JSCRS学術総会

2024.6.28(金)

【インストラクションコース6】そこを知りたい！本音の
ICL。入口から歡迎まで 2024

【講師】中村 友昭

【一般講演11】ICL 1

垂直固定の際のICLサイズ決定式
(NK-V式)の検討

◆小島 隆司、西田 知也、磯谷 尚輝、中村 友昭

2024.6.29(土)

【特別報告】JSCRSデータ解析委員会特別報告
付加価値眼内レンズ挿入眼の
長期術後成績の多施設共同研究

◆小島 隆司

【インストラクションコース12】ICL、プレミアムIOL
失敗と成功と未来の共有 2024

【講師】中村 友昭

【教育セミナー10】これで安心、いざというときに役立つ
屈折矯正術後の合併症
術後炎症への対処法

◆中村 友昭

【一般講演9】焦点深度拡張型眼内レンズ
波面制御型焦点深度拡張眼内レンズの
術後早期成績と患者満足度

◆澤木 綾子、小島 隆司、西田 知也、中村 友昭、加賀 達志

【一般講演12】生体計測

前眼部OCTを用いた
角膜生体力学特性低下眼のスクリーニング◆西田 知也、磯谷 尚輝、小島 隆司、吉田 陽子、中村
友昭

2024.6.30(日)

【インストラクションコース16】New Waveをキャッチせよ

【講師】小島 隆司

【インストラクションコース17】円錐角膜アップデート
【オーガナイザー 兼 講師】小島 隆司【ケースレポート2】合併症・難症例2
ICL(Implantable Collamer Lens)
挿入眼に発症した虹彩実質囊胞の1例

◆鈴木 孝弥、澤木 綾子、小島 隆司、加賀 達志

【ケースレポート3】手術手技・その他
4-OPVDFを用いてアクリルレンズを
強膜内固定した1例についての報告

◆吉田 則彦

【ケースレポート3】手術手技・その他

広範囲なチン氏帯断裂に対し
カプセルエキスパンダーを強膜内固定し
眼内レンズを囊内挿入した1例

◆志賀 優、吉田 則彦、加賀 達志

第66回日本コンタクトレンズ学会総会

2024.7.14(日)

【コンタクトレンズ基礎講座1】百問は一見にしかずー特
殊コンタクトレンズの魅力に迫るー

強膜レンズの可能性に迫る

◆小島 隆司

The 42nd Annual Meeting of the ASRS 2024

2024.7.17(水)～20(土)

【POD 7 (Poster On Demand)】Surgical Techniques,
Socioeconomics, Practice Management.A Case of Repeated Intraocular Bleeding
After Intraocular Lens Scleral Fixation.

◆Tatsushi Kaga

KOWA Web カンファレンス

2024.8.29(木)

【一般講演①】

◆院における緑内障治療について

◆高木 勇貴

The 42nd Congress of the ESCRS

2024.9.6(金)~10(火)

【Free Paper E-poster】Keratoconus and secondary ectasia.

Evaluation of discrimination formula for keratoconus using optical biometer.

◆Takashi Kojima, Tomoya Nishida, Naoki Isogai, Akeno Tamaaki, Ayako Sawaki, Tomoaki Nakamura

【Presented Poster】Cataract surgery practice styles. Assessment of Surgical Outcomes with Intrepid® Hybrid Tip in Cataract Surgery by Trainee Surgeons.

◆Ayako Sawaki, Takashi Kojima, Tatsushi Kaga

第35回日本緑内障学会

2024.9.21(土)

【学術展示(ポスター) 4】啓発活動・視野

imo vifa24plus(1-2)による

中心10度内における視機能評価の検討

◆高木 勇貴、浅野 亮、山下 寛奈、酒井 幸弘、横山 翔、市川 慶、市川 一夫

第65回日本視能矯正学会

2024.11.2(土)

【口演発表2】眼内レンズ

白内障術前の高眼圧が眼軸長および術後屈折誤差に及ぼす影響の検討

◆小坂 百合、玉置 明野、小島 隆司、高木 勇貴、澤木 綾子、野上 豪志、加賀 達志

第78回日本臨床眼科学会

2024.11.14(木)

【一般講演17】白内障手術 1

多施設における有水晶体眼内レンズ術後眼に対する白内障手術成績の検討

◆小島 隆司、鳥居 秀成、柴 琢也、森 洋齊、後藤 聡、長谷川 優実、神谷 和孝、永田 万由美、松島 博之、宮田 和典

【一般講演18】白内障手術 2

多施設共同研究による成熟白内障に対する白内障手術の検討

◆森 洋齊、石原 誠人、鳥居 秀成、後藤 聡、長谷川 優実、神谷 和孝、柴 琢也、小島 隆司、永田 万由美、松島 博之、宮田 和典

【一般講演18】白内障手術 2

多施設における白内障を有する眼の浅前房眼と非浅前房眼の比較

◆橋本 青葉、鳥居 秀成、四倉 絵里沙、森 洋齊、後藤 聡、長谷川 優実、神谷 和孝、柴 琢也、小島 隆司、永田 万由美、松島 博之、宮田 和典、根岸 一乃

【ランチョンセミナー5】これから始める眼内内視鏡、まずここからやってみよう!

網膜硝子体手術での内視鏡活用、まずはこの場面からやってみよう!

◆加賀 達志

2024.11.15(金)

【一般講演29】円錐角膜

Low Luminance Questionnaireを用いた円錐角膜患者の視覚関連QOL調査

◆西田 知也、堀場 純希、磯谷 尚輝、小島 隆司、吉田 陽子、中村 友昭

【モーニングセミナー4】白内障エビデンスクラブVol.5 現代これからの難症例白内障手術

有水晶体眼内レンズ挿入眼の白内障手術

◆小島 隆司

【ランチョンセミナー28】~ICL手術の安全性を高めるため~トランプルシューティング

ICLの術後眼内炎 原因と対策

◆中村 友昭

【イブニングセミナー5】日本発回折型3焦点眼内レンズの最新情報

Gemetricの初期臨床データから見えてくるもの

◆中村 友昭

2024.11.16(土)

【一般講演37】多焦点・EDOF

多施設共同研究による非回折型焦点深度拡張眼内レンズ挿入眼の視機能の検討

◆柴 琢也、森 洋齊、鳥居 秀成、長谷川 優実、小島 隆司、松島 博之、永田 万由美、後藤 聡、神谷 和孝、宮田 和典

【学術展示6】屈折・視機能/ロービジョン・色覚・電気生理/医療・医政・その他

ICL術後のタッチアップLASIKの

安全性と有効性に関する検討

◆稲熊 里香、澤木 綾子、小島 隆司、西田 知也、中村 友昭

2024.11.17(日)

【一般講演47】イメージング

GS-1と前眼部OCT(CASIA2 Advance)の隅角閉塞の検出能の比較検討

◆高木 勇貴、浅野 亮、森岡 柚衣、酒井 幸弘、横山 翔、市川 慶、市川 一夫

【一般講演48】屈折

貫通孔付き後房型有水晶体眼内レンズ

ICL(V4c)術後10年の後ろ向き研究

◆中村 友昭、小島 隆司、吉田 陽子、磯谷 尚輝、西田 知也

2024.11.14(木)~11.17(日)

オンデマンド配信 日本眼科学会屈折矯正手術講習会

有水晶体眼内レンズ(後房型)の

実際(術前検査・手術)

◆中村 友昭

オンデマンド配信【インストラクションコース 54】屈折矯正手術の秘伝公開

屈折矯正手術の秘伝公開

◆稗田 牧、荒井 宏幸、中村 友昭

Multifocal IOLウェビナー

2024.11.27(水)

多焦点IOL診療の秘訣教えます!

クリニックにおける多焦点IOL診療の秘訣とGemetricの位置づけ

【座長 兼 演者】小島 隆司

原著論文

Clinical Case Reports

Incomplete homonymous hemianopsia progressing to junctional scotoma due to a large internal carotid artery aneurysm: A case report.

◆Yuki Takagi, Kenta Hozumi, Sho Yokoyama, Yoshimi Yokoyama, Tatusi Kaga
Clin Case Rep. 2024 Apr 30;12(5):e8872. doi: 10.1002/ccr.3.8872.

Retinal Cases & Brief Reports

Endoscopic Surgery for Congenital or Acquired Cataract Associated with Persistent Fetal Vasculature: A Case Series.

◆Mitsuru Otsubo, Tatsushi Kaga, Yoshimi Yokoyama, Takashi Kojima
Retin Cases Brief Rep. 2024 Jul 19. doi:10.1097/ICB.0000000000001634. Online ahead of print.Journal of Cataract & Refractive Surgery
Discriminant prediction equation using an optical biometer for identifying postmyopic laser vision correction eyes.◆Tomoya Nishida, Takashi Kojima, Naoki Isogai, Yoko Yoshida, Tomoaki Nakamura
J Cataract Refract Surg. 2024 Nov 1;50(11):1151-1156. doi: 10.1097/j.jcrs.0000000000001522.

Clinical Ophthalmology

Effect of Intraocular Lens Power Calculation Formula Optimization in the Sum-of-Segments Optical Biometer.

◆Takashi Kojima, Akeno Tamaaki, Kazuo Ichikawa, Yuya Satoh, Ryota Tomemori, Keizo Watanabe, Asato Hasegawa, Ayako Sawaki, Tatsushi Kaga
Clin Ophthalmol. 2024 Sep 6;18:2545-2553. doi: 10.2147/OPTH.S477006. eCollection 2024.

日本視能訓練士協会誌 53巻 pg.21-26

オルソケラトロジーと0.01%低濃度アトロピン点眼液による近視進行抑制効果の検討

◆堀場 純希、西田 知也、忠岡 景雅、荻 達彩、磯谷 尚輝、小島 隆司、吉田 陽子、中村 友昭

あたらしい眼科 41巻5号 pg.565-568

当院におけるSmall Incision Lenticule Extraction(SMILE)手術1,164眼の合併症の検討

◆西田 知也、片岡 嵩博、磯谷 尚輝、小島 隆司、吉田 陽子、中村 友昭

総説・解説等

あたらしい眼科 41巻 2号, pg.131-134

【眼内レンズの知識が白内障手術の執刀パスポート】球面収差と色収差の意味と意義

◆小島 隆司

眼科グラフィック 13巻1号 pg.27-33

【屈折矯正手術の最前線~LASIKやICL手術の今,これから~】2章 レーザー手術の実際 SMILE

◆中村 友昭

眼科ケア 26巻3号 pg.232-239

【安心・安全のためにコンタクトレンズ処方&患者説明の押さえてどころ】3章 コンタクトレンズの処方と患者説明の押さえてどころ (2)遠視矯正のコンタクトレンズを処方した症例

◆西田 知也

オクリスタ 132号 pg.82-89

【眼科検査機器はこう使う!】前眼部OCT ICL手術のレンズサイズ決定における前眼部OCTの活用

◆西田 知也、小島 隆司

家庭画報 4月号

「リレックススマイル」

角膜への負担がより少ない視力矯正手術

◆中村 友昭

あたらしい眼科 41巻 5号 pg.549-550

屈折矯正手術セミナー

スキルアップ講座 SMILEの現状と課題

◆中村 友昭、稗田 牧、神谷 和孝

IOL & RS 38巻 2号 pg.238-242

低侵襲レーザー屈折矯正手術SMILE

◆澤木 綾子、小島 隆司、中村 友昭

Forbes JAPAN 9月号 No. 121

視力矯正が“ライフスタイル”のひとつに25年の歴史から紐とく視力矯正の進化

◆中村 友昭

あたらしい眼科 41巻 7号 pg.817-818

屈折矯正手術セミナー -スキルアップ講座- ICL手術の術前検査の注意点

◆磯谷 尚輝

中日新聞 日刊 12版 第29350号 10頁【生活】健康

専門医のアドバイスを検索!からだの悩みQ&A 「白内障手術 別の病院でも可?」

◆澤木 綾子

眼科 66巻 8号 pg.765-772

手術のコツとトラブルシューティング:屈折矯正手術編 1. エキシマレーザー 角膜屈折矯正手術(PRK, LASIK)

◆中村 友昭

IOL & RS 38巻 3号 pg.370-373

【Phakic IOL 稀な合併症への対応】外傷によるICL脱臼

◆小島 隆司

IOL & RS 38巻 3号 pg.382-401

2024 JSCRS Clinical Survey

◆田淵 仁志、佐藤 正樹、神谷 和孝、小島 隆司、初坂 奈津子、鳥居 秀成、永田 万由美、宮田 和典、林 研、中新井田 悠太

IOL & RS 38巻 3号 pg.484-493

コンサルテーションコーナー エキスパートに聞く

◆野口 三太郎、二宮 欣彦、小島 隆司、秦 誠一郎、荒井 宏幸

日本の眼科 95巻10号 pg.1428-1429

眼科医の手引 レーザー屈折矯正手術SMILE

◆中村 友昭

書籍

幻冬舎 2024.9.20 発売

凄腕ドクターが解説する

眼内コンタクトレンズ手術 ICL

大内 雅之、大島 佑介、小島 隆司、柴 琢也、秦 誠一郎

